

特定医療法人三水会 田尻病院

窪田 政寛



はじめに

当病院は、岡山県の北東部、兵庫県と鳥取県に接する美作市の中心からやや南寄りに位置します。市の真中を中国縦貫自動車道が貫き、南部には美作三湯の1つ湯郷温泉を擁しています。当病院から眺めると、前を通る JR 姫新線と水田の向うは三星山になります。この小山には、春の山桜、夏の藤や躑躅、秋の紅葉、冬の雪化粧と、四季折々の風情が見られて、患者様や職員の心の安らぎになっています。人口32,400人の美作市に3つある病院の1つとして、当病院は地域医療の一端を担っています。



病院の沿革

田尻病院は、創始者故田尻 保(昌義)・初代理事長兼院長(昭和11年岡山医大卒)が、昭和21年1月15日に、岡山県英田郡美作町榎原(現在の美作市榎原)に、田尻外科診療所を開設したことに始まります。軍医として働いた旧満州から復員して、第一外科教室、榎原病院に勤務した後、当地で開業したものです。昭和26年2月に、同じ美作町内の明見(現在地)に移転しました。昭和34年12月に医療法人三水会を設立、昭和40年5月に43床の田尻病院に改組しました。当時、放射線科医と内科医の応援を得て、胃・大腸のX線検査や胃の内視鏡検査を行ってまいりました。昭和42年6月に岡山県胃精密検診委嘱施設に認定されました。昭和47年4月に60床に増床し、同年11月に特定医療法人に認可されています。昭和48年12月に田尻昌三郎(現理事長)が副院長・外科医長に就任、昭和57年に窪田政寛(現病院長)が内科医長に就任しました。昭和50年

11月に救急告示病院に認可されました。その後、整形外科・循環器内科・皮膚科・小児科(発達神経部門)・脳神経外科の各教室から非常勤の医師の派遣を受けています。平成2年に基準看護の承認を受け、また岡山県大腸精密検診委嘱施設に認定されました。昭和58年から84床で運営していましたが、介護保険法の施行に合わせて平成12年より、急性期50床、療養型55床(医療型17床・介護型38床)の合計105床になりました。さらに、指定居宅介護支援事業所「介護相談センターぽぷら」を併設して、訪問看護・ショートステイなどの事業を行っています。

病院の理念

現理事長が次のように定めています。

- ① 職員全員で地域医療に貢献することを基本理念と致します。
- ② 患者の皆様を中心に人間味溢れる、心温まる医療環境を提供し、看護サービスを致します。
- ③ 他の医療機関と連携協力して良

い医療に努めます。

④ 医療技術の向上に努力致します。

診療の実際

当院の医療圏は、美作市内の他、西の勝田郡勝央町、久米郡美咲町、あるいは東の兵庫県佐用町も含まれています。創設当初から手術症例がとて多くありましたが、医療の高度化で麻酔科専門医が必要となり、胃・十二指腸潰瘍はほとんど内科的治療となり、胆石症も腹腔鏡下手術、あるいは内視鏡的十二指腸乳頭切開術などが行われるようになり、このため当院の手術症例は減少していききました。一方、消化器疾患は岡山大学消化器内科の応援を得て、中でも内視鏡検査を年間、上部消化管406例、下部消化管165例（平成20年）行っており検査が楽だったと患者様に好評です。肝・胆・膵疾患の超音波検査とX線 CT 検査も行っています。循環器疾患の患者様は年々増加して、循環器内科教室から派遣の2人の専門医が多忙を極めています。市内でも数少ない循環器内科専門医療機関として地域に欠かせない存在です。整形外科も高齢者の脊椎圧迫骨折や大腿骨頸部骨折などで需要が

年々増えています。また、地元の女子サッカーチームの湯郷ベルのスポーツドクターとして健診など行っていて、派遣の専門医2人も多忙です。皮膚科は、老人性乾皮症や寝たきりの患者様の褥瘡、薬疹、アレルギー疾患など専門医の治療が必要な多くの患者様がいます。小児科は小児疾患全般の診療や予防接種のほか癩癧の患者様など長期にコントロールしています。脳神経外科は脳梗塞をはじめ、あらゆる脳疾患のX線 CT 写真で判断できる範囲でのチェックをしています。心臓血管外科は閉塞性動脈硬化症、大動脈瘤、下肢静脈瘤などの診断・治療を行っています。美作市医師会の医療機関から多くの患者様を紹介してもらっています。

おわりに

当病院は、常勤医が少ないため岡山大学の多くの教室から応援を受けています。さらに最近の厳しい医師の供給事情から津山中央病院と独立行政法人国立病院機構岡山医療センターからも不定期に非常勤医師を派遣してもらっています。この場を借りて厚く御礼申し上げます。津山市まで約30分の距離ですが、地元の人

々は各専門医の高いレベルの診療が受けられる当病院に信頼を寄せてくれています。

また、市内や近隣の市町村の医療機関ともよく連携してきました。今後とも二次救急医療機関として、来る者は拒まずの姿勢で地域医療に役立ちたいと考えております。

最後に、創始者故田尻 保が昭和35年に発表した論文、およびその関連の増田睦郎博士の論文などを参考文献といたします。

文献

- 1) 田尻 保：多量の綿を産出する奇異な慢性肉芽性炎例について。日本医事新報（1960）1869, 22-35.
- 2) 増田睦郎：綿ふき病始末記（上）（中）（下）それでも綿ふき病はあった。日本医事新報（1988）3359, 59, 3360, 63, 3361, 62.
- 3) 綿ふき病（田尻病）：ブリタニカ国際大百科事典 初版 第6巻, ティビイエス・ブリタニカ, 東京（1974）pp 943.

平成21年5月受理

〒707-0003 岡山県美作市明見550-1

電話：0868-72-0380 FAX：0868-72-4406

E-mail：tajiri@a-do.ne.jp

http://www.tajirihp.or.jp